

「六郷のカマクラ」が2月13日から2月17日にかけて開催されました。17日に開催予定だった竹うちは、雪不足のため中止となりましたが、他のカマクラ行事は行われましたので、その様子をご覧ください。



■町内に掲揚される天筆



■空高く舞い上がる天筆



■天筆焼き



■鳥追い小屋



■天筆書き体験

六郷のカマクラ

国指定重要無形民俗文化財



ご長寿おめでとうございます

高橋マツさんが満100歳に

2月10日に満100歳の誕生日を迎えられた高橋マツさん(御前)のもとを松田町長が訪れ、長寿祝い金を贈呈しました。松田町長が「おめでとうございます。大正13年にお生まれになって、それから昭和・平成・令和と4つの時代を生きてこられたことは、本当に素晴らしいことです」と声をかけると、高橋さんは「ありがとうございます」と笑顔で答え、利用している施設の仲間やスタッフから大きな拍手が送られました。

高橋さんは、3人きょうだいの長女として旧山内村に生まれました。生家はリンゴ農家だったため、家の手伝いを頑張ったことが思い出のことです。漬け物などの郷土料理をつくるのが得意だったそうです。現在は、施設を利用している仲間たちとテレビを観たり、会話を楽しんだりして規則正しい毎日を過ごしています。長生きの秘訣は「おいしい物を食べて笑うこと」これからも元気で過ごしてください。



地域住民と交流し、美郷町を知る

JAL×美郷町ウインターキャンプ

地域との相互交流を通じた地域活性化を目的とした「JAL×美郷町ウインターキャンプ」が、2月3日から2月4日にかけて行われ、JALの社員18名が参加しました。

本来は除雪ボランティアを予定していましたが、積雪が少なかったことから、六郷地区のかまくら畑周辺のクリーンアップが行われました。

2日目は天筆書き体験などが行われ、冬の美郷町を体験しました。



MISATOPICS

町の話



「ミサトとセッカのだいぼうけん」が出版されます

これからの美郷町を担う3歳から7歳の子どもたちに向けて「美郷大使」である絵本作家・永田萌氏の協力のもと、絵本を作成しました。町に住んでいる、または町のこども園・小学校に通っている令和6年4月現在の3歳児・4歳児・5歳児・小学校1年生・小学校2年生に無料配布するほか、下記の場所で一般向けに販売も行います。

■絵本出版記念イベント

日時◆3月20日(水・祝) 午前10時30分～正午
会場◆名水市場湧太郎 多目的スペース「みずたまり」・國之譽ホール
ゲスト◆永田 萌氏
内容◆永田氏による絵本の解説
 ・先行販売(永田氏のサイン入り絵本も数量限定販売します)

■絵本の販売

発売日◆3月21日(木)～
販売場所◆下記での販売を予定しています。
 美郷町学友館・美郷町公民館・美郷町北ふれあい館・美郷町役場総務課・道の駅美郷・名水市場湧太郎「美郷屋」・岡田書店・妖精村
価格◆1冊1,650円(税込)

問●美郷町学友館 ☎0187(84)4040

至上の喜び

COLUMN WINDS

コラム

風

美郷町長
松田知己

目的をもって取り組んだことが成就するときの喜び、誰しもが経験あるものと思います。この時期ですと、学校の卒業はその一つ。一緒に暮らした仲間と分かれることはとても寂しいことですが、例えば就職や進学、部活動の成果などの目標を持って学校生活を重ね、卒業という形でそれが成就することは、何事にも代え難い喜びではないかと思えます。

私も今月、取り組んできたことが成就する大きな喜びを得ます。3年越しの取り組み、美郷町オリジナル絵本の完成です。その作画は美郷大使の永田萌さん。ある構想を持って取り組んできたものですので、この度の完成は仕事冥利に尽きます。その取り組み

動機ですが、二つあります。一つは、中学生向け「みさと働きびと」、小学校高学年向け「ふるさと美郷は宝箱」に続く完結編として、小さい子供向けの町オリジナルの本を制作したかったこと。もう一つは、シリーズものとして取り組んできた「記憶残し」のメモリアル婚姻届、出生記念証、むし歯のない子表彰状、認定こども園修了証書に続く完結編を制作したかったことです。

それぞれの取り組み目的ですが、一つ目は成長に応じた美郷オリジナルの本を通じ、美郷を「知る」ことで子供たちのふるさと意識を深くさせたいこと。二つ目は記念となる折々の証しについて永田萌さんの絵で統一し、オリジナリティを持たせることで親の保管意欲を高め、いつかまとめて子供に渡してもらおうことで、子供たちの成長の記憶とふるさとへの思いを深くしてもらいたいことです。

この二つの別々の目的が一つになる結節点で、今回のオリジナル絵本の完成です。そして構想はこれで完結です。そのため、私としては特に嬉しいわけです。この絵本、園児や小学校低学年の子供たちには4月に贈呈する予定です。また、一般の方には販売もします。3月20日(水)に名水市場湧太郎内で出版記念行事を行いますので、ご参加いただき、お求めいただければ幸いです。

物事は終わりがあるからこそ、新たな始まりがあります。さてさて、次の構想はいかがなものか。現在、その下地づくり中です。



▲東北電力ネットワーク(株)大曲電力センターとの「災害時の協力に関する協定」締結式での松田町長